

令和7年度 学校評価書(共通) 後期

校名 宇和島市立日振島小学校

1 自己評価書

教育目標	郷土への誇りと深い愛着を持ち、たくましく未来を切り拓く日振の子の育成				
基本方針	150年の歴史と伝統を誇る本校の歩みを継承し、島の豊かな自然や地域の魅力に親しむことで、日振島への誇りと愛着を育むとともに、自らの手でたくましく未来を切り開く力を備えた児童の育成を目指した学校経営を推進する。				
本年度重点目標	1 確かな学力の定着と向上 2 生徒指導の充実 3 働き方改革の推進 4 地域との連携				
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
確かな学力の定着と向上	① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析結果を基に、「身に付けさせたい力(学習の目標)」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成	A	A
			・具体的な対策の実施	A	
	② 授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業モデル「N見方・考え方を変える」を視点に授業改善に努めた。 ねらいを明確にした分かる授業を行った。	・教師アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	A	
	③ 家庭学習の充実	家庭との協働により、授業と連動させた家庭学習の充実に努めた。	・教師アンケート	A	D
			・保護者アンケート	D	
	④ 読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート	D	D
			・保護者アンケート	D	
	⑤ ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする児童生徒の育成に努めた。	・教師アンケート	A	C
・保護者アンケート			A		
<p>(成果と課題)</p> <p>○テストでは、ほぼ9～10割の正解率である。基礎学力は定着してきている。 ○場面や状況に応じて、はきはきと表現することができるようになってきた。 ●知識は定着している。その知識を活用する思考・判断・表現の力を伸ばす必要がある。 ●読書活動を充実させるための手だてに工夫が必要である。</p> <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時間一時間の授業を大切に、ねらいを明確にした授業改善に努める。 ・学習したことが生かせる、体験活動を計画する。 ・多人数の中で話し合ったり、発表したりする経験を多く積ませる。 ・読み聞かせやブックトークなど、読書に親しむ時間の充実に図る。 					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	A	D
			・保護者アンケート	D	
			・児童生徒アンケート	D	
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。 不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート	A	C
			・保護者アンケート	D	
			・児童生徒アンケート	A	
	③ 関係機関との連携	いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速且つ適切な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	A	
	④ 自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート	A	C
・児童生徒アンケート			D		
<p>(成果と課題)</p> <p>○元気な挨拶ができるようになっている。授業と休み時間のメリハリが少しずつ付いてきている。 ○今学期も、家庭・地域・学校が、児童を温かい見守りにより、心理的安全性の高い学校生活を送ることができた。 ●周りの人と接する際、相手や状況に応じた距離感を保つことが課題である。 ●児童の自己肯定感に低下がみられた。自己に対する厳しさが影響していると考えられる。今後は、努力の過程や小さな成長に目を向けられるよう支援し、自信をもって行動できるようにしていきたい。</p> <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人と関わる機会を多く取り入れ、教師が見本を示しながら、時と場や相手に応じた接し方を体験的に学ばせ、繰り返し練習していく。 ・素敵な言動をした時には、機会を逃さず賞賛する。 					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	① ワーク・ライフ・バランス	時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指し、校内で設定した業務改善施策を基に、組織的な働き方改革に努めた。	・教師アンケート	A	A
			・「出勤・退庁調査」の分析と活用	A	
	② 働きやすい環境づくり	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。(枠を移動しました。)	・教師アンケート	A	A
			休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	
③ 他の教職員のサポート体制の充実	教職員同士が仕事を手助けしたり、スクールサポートスタッフ、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制が充実した。	・教師アンケート	A	A	
<p>(成果と課題)</p> <p>○今学期も、多くの方々にかかわっていただき、ストレスなく勤務することができた。</p> <p>●自分のペースで仕事が進められるため、気が付いたら退勤時間が遅くなってしまうことがあった。</p>					
<p>(改善策等)</p> <p>・少ない職員数であることを肯定的に捉え、職場全体で業務内容を共有化し、チームとして効率的に取り組んでいく。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	① 学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。 学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議等の結果を基に、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート	A	A
			・教師アンケート	A	
			・保護者アンケート	A	
	② 情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
			・地域アンケート	A	
③ 来校・相談体制	来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A	
		・保護者アンケート	A		
		・地域アンケート	A		
<p>(成果と課題)</p> <p>○地域の方々の協力にすく助けられている。すぐ、依頼しやすい環境も整っていることもありがたい。家庭と地域と学校が協力し合って、創立150周年の運動会・文化祭記念行事を開催することができた。</p> <p>●児童がいない地区の地域の方に、学校の現状を知っていただく機会が少ない。</p>					
<p>(改善策等)</p> <p>・今後も学校HPや光の子を通じて情報発信を充実させ、教育活動を積極的に公開し、保護者・地域から一層信頼される学校づくりに努める。</p> <p>・島内での校外学習の機会を増やし、地域の方々と児童が関わる機会を増やす。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満